

株式会社 丸 運

決算説明会資料

2016年11月10日



Maruwn Corporation 



1) 会 社 概 要	P.2～P.6
2) 第2次中期経営計画	P.7～P.13
3) 第2四半期決算実績	P.14～P.18
4) 通期業績予想	P.19～P.21
5) セグメント別状況	P.22～P.28
6) 参 考 資 料	P.29～P.35

1) 会社概要

Maruwn Corporation 

商 号	株式会社 丸 運
	Maruwn Corporation
所 在 地	東京都中央区日本橋小網町7-2
代 表 者	荒木 康次
創 業	1892年（明治25年）9月21日
設 立	1938年（昭和13年）12月17日
上 場 取 引 所	東京証券取引所（市場第一部 CODE:9067）
資 本 金	35億5,923万円
従 業 員 数	2,048名（連結）／396名（単体）
車 両 台 数	1,867両
グループ会社数	19社

※従業員数・車両台数・グループ会社数…2016年3月31日時点

丸運は**120年以上**の歴史を持つ、**総合物流会社**です。

JXグループの関連会社であり、**国内外一貫物流サービス**をご提供しています。

1. カスタマーメイド (B to B) の物流分野に強み

(重量物、異形物、長尺物、巻物、重機運搬設置、液体危険物)

2. 鉄道利用運送の老舗 (全国通運会社206社※の要)

※2016年7月時点

JR貨物とは密接な関係。モーダルシフトにも対応。

3. 需要集積地である首都圏に相応の物流施設・輸送戦力を保有

4. 液体危険物輸送/一般貨物輸送/倉庫保管・施設管理の三刀流

5. リサイクル物流 (回収~処理) の経験が豊富

6. JX以外の元売り・非鉄ビジネスへも参入



丸運は貨物事業本部のもとに5つのセグメント事業部を要し
お客様の物流ソリューションを最高の品質と創造力で革新します。

貨物輸送事業部

- 一般貨物輸送。取扱品目は重量物、異形物、長尺物、日用品、特定信書など多種多様。全国に物流センターを構え、保税貨物にも対応。産業廃棄物のリサイクル(静脈物流)も。

潤滑油・化成品事業部

- 潤滑油・化成品の詰品輸送・保管およびバルク輸送に対応。危険物倉庫、ケミカルローリー、ISOコンテナなどを保有。

流通貨物事業部

- お客様の流通加工スタイルに合わせた最適物流を展開。5温度帯（常温、定温、冷蔵、氷温、冷凍）での品質管理が可能。

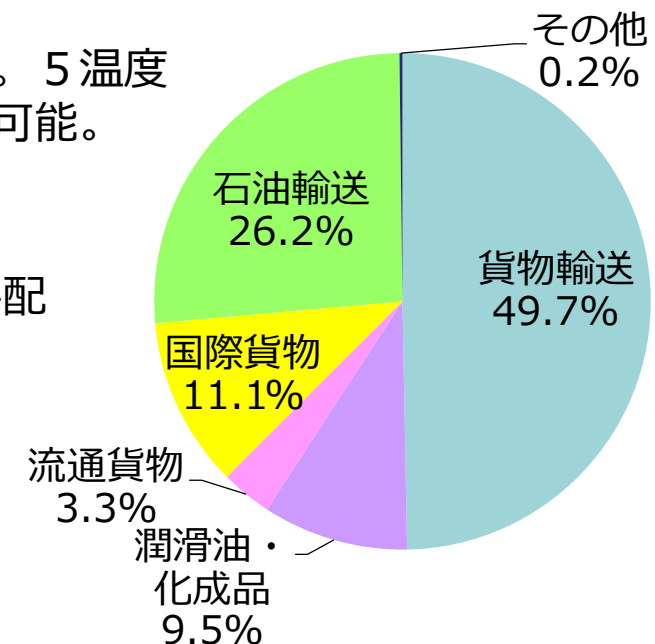
国際貨物事業部

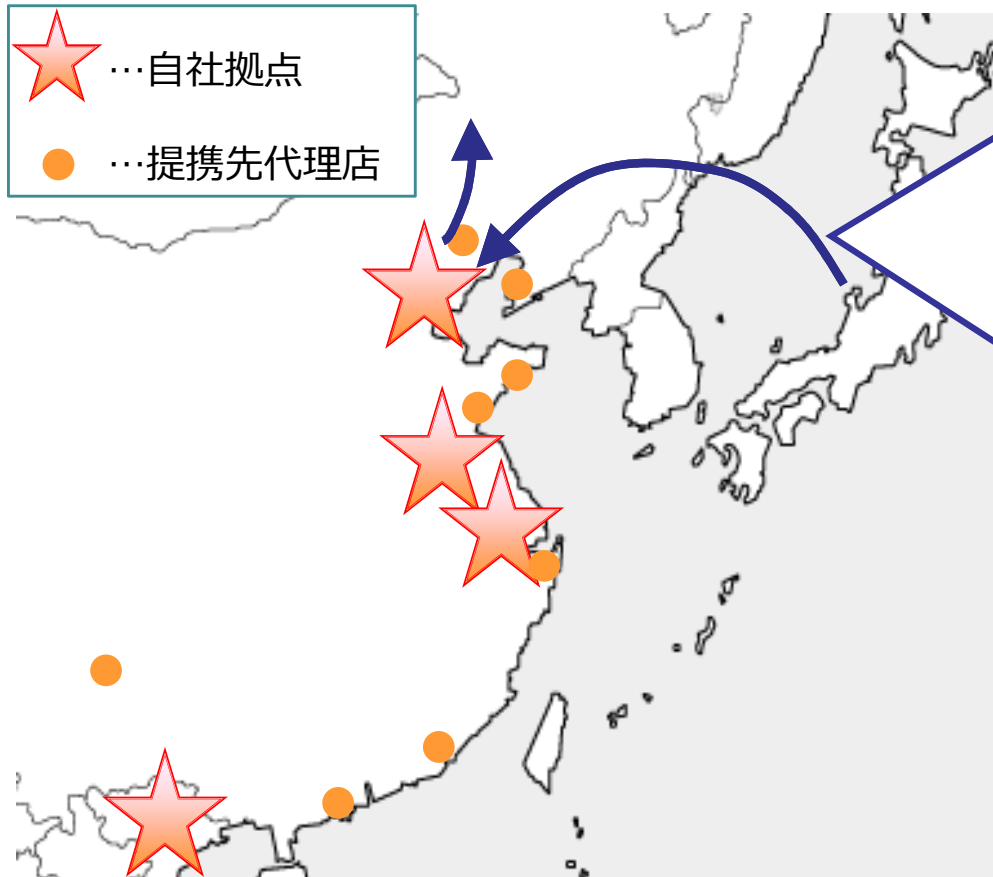
- 輸出入に関する通関業務、船便・航空便・ドレージ手配および海外現地における物流業務全般に対応。

石油輸送事業部

- 石油製品・LPGなどを全国の製油所・基地からガソリンスタンドや工場へ輸送。油槽所やガスターミナルの管理業務にも携わる。

部門別売上構成比(2015年度)





自動車用大型アルミコイル 国内外一貫物流 (栃木物流センター/ 丸運物流(天津)有限公司)

母材輸出 → 天津工場搬入 → 中国国内製品輸送
(中間製品)

※栃木物流センター第2倉庫は2016年11月に竣工予定



25tフォーク荷役作業



天井クレーン

2008年 丸運国際貨運代理(上海)有限公司を設立 (2013年連結)

2011年 丸運安科迅物流(常州)有限公司を設立 (2015年連結)

2014年 ハノイ事務所を設立

2015年 丸運物流(天津)有限公司を設立 (2016年連結)

2016年11月 丸運物流(天津)有限公司 倉庫設備拡張

2) 第2次中期経営計画



貨物／流通貨物／国際

石油／潤滑油・化成品

機会

- 海外展開/内外一貫物流ニーズ
- ソリューション型物流ニーズ
- C&F(Chilled&Frozen)市場の拡大

- 配送効率化ニーズ
- 物流業務のアウトソース
- 海外市場の成長

危機

- 国内貨物輸送量の減少
- 物流会社の提携/経営統合
- ドライバー不足

- 国内石油製品需要の減少
- 石油元売会社の経営統合
- ドライバー不足

持続的な成長と中長期的な企業価値創出への取組み

成長戦略のロードマップ立案・公表と確実な実践による
企業価値の向上

2016年12月21日 経営統合承認株主総会 (予定)

2017年 4月 1日 経営統合日 (予定)



<1,000億円/3年 の統合効果>

- | | |
|-------------------------------|-------|
| • 供給、物流、販売部門 (原油調達、陸海上配送効率化) | 280億円 |
| • 製造部門 (ベストプラクティス活用、川崎地区の一体化) | 400億円 |
| • その他 (ERPシステム導入による業務改善) | 320億円 |

**JX-TGグループ
新中期経営計画 (2017年度~19年度) 策定**

**丸運グループ中期経営計画 見直し
(2017年度~19年度)**

《修正》中期経営計画 (2017-2019)



新たな企業価値を創造できる会社へ

貨物輸送

- 物流拠点の生産性向上
- 物流拠点の統廃合
- 投資案件の着実な遂行

潤滑油・化成品

- 輸出入一貫物流元請化
- 物流業務一括元請化
- 提案営業力の推進

流通貨物

- 既存センターの業容拡大
- 新規センターの基盤確立

国際貨物

- 営業体制の強化
- 新規業務基盤の拡大
- 海外事業基盤の確立

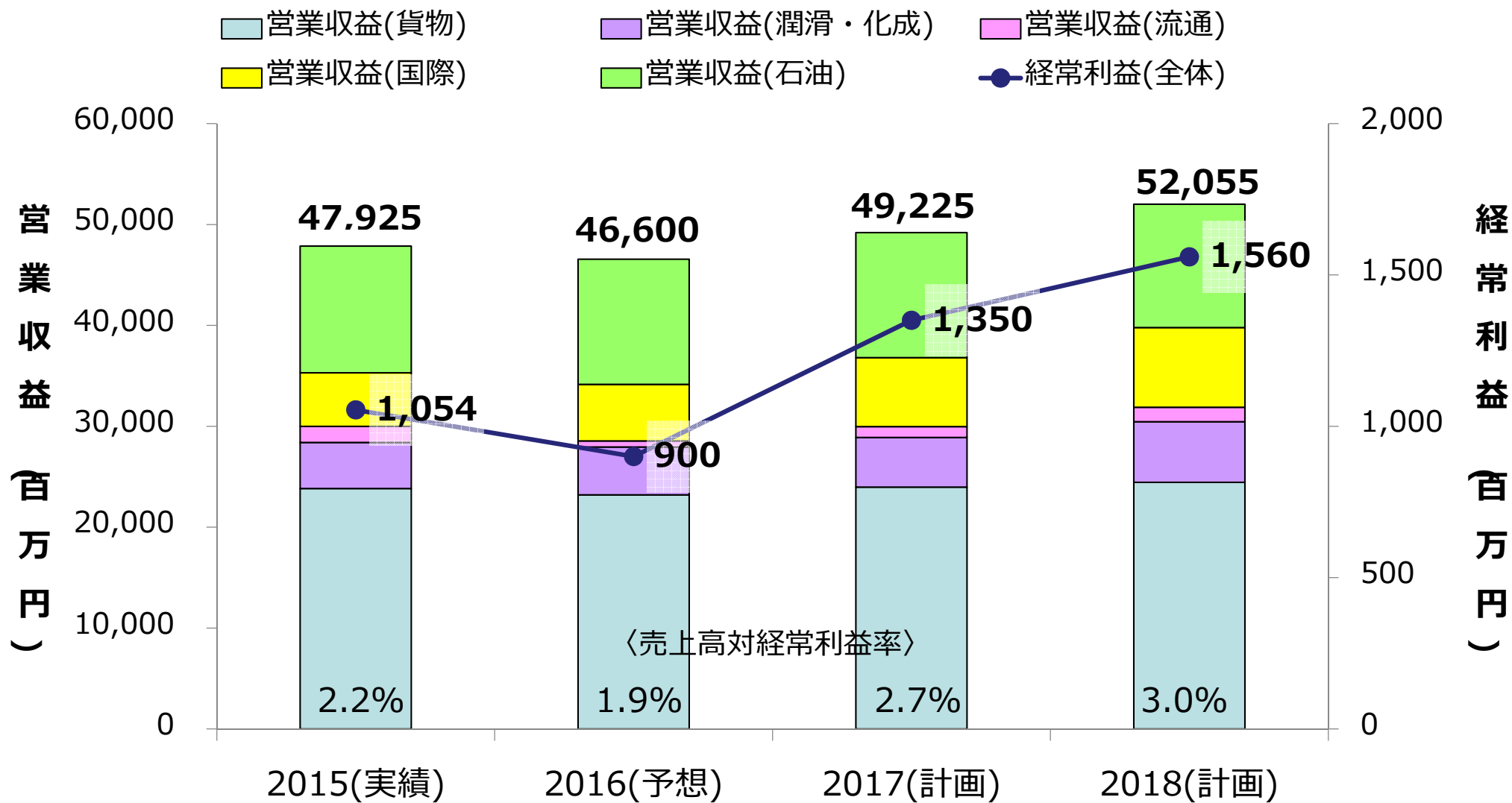
石油輸送

- 新規顧客の開拓
- 安全品質の向上
- 自社車両の拡充

全社

中期経営計画の確実な実践による企業価値の向上

業績推移 (2015年度～2018年度)



営業収益

4,130百万円
(15'~18')

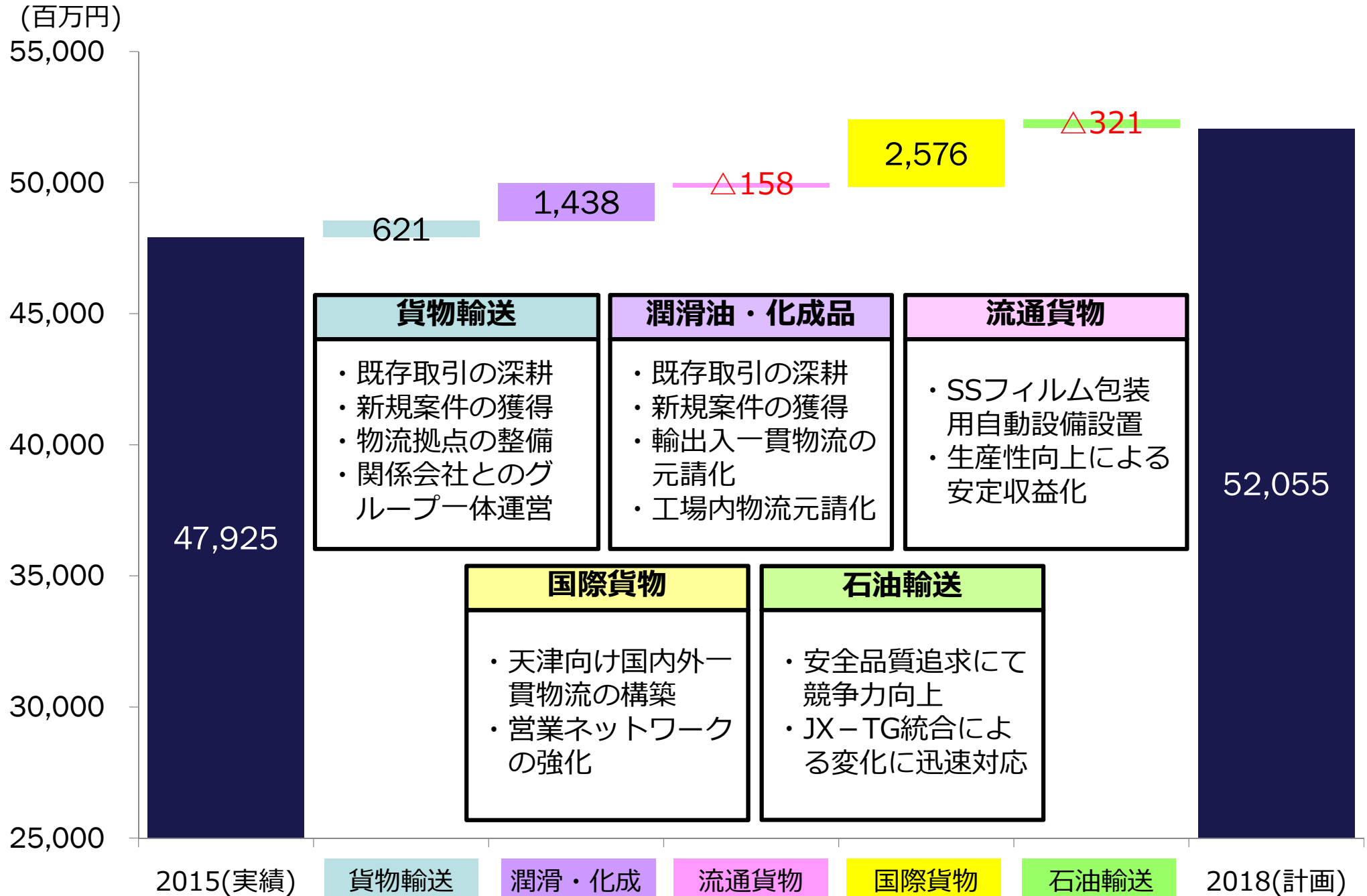
↑ **增收**

経常利益

506百万円
(15'~18')

↑ **増益**

第2次中期経営計画 進捗 (営業収益)



3) 2017年3月期第2四半期決算実績



第2四半期決算サマリー



- 営業収益は、合併事業撤退・国内石油製品需要減少に伴う輸送量漸減により上期累計△1,047百万円の減収（△4.5%）。
- 経常利益は、流通貨物における不採算事業(合併事業)撤退による損失解消要因はあるものの、国際貨物における新規事業会社への初期投資、石油輸送における輸送量漸減等の影響でほぼ前年同期並み。

(百万円)	16/3期			17/3期					
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	前年 増減率	通期予想	通期 達成率
営業収益	11,674	11,811	23,485	11,086	11,352	22,438	△4.5%	46,600	48.2%
営業利益 (売上高比)	103 (0.9%)	116 (1.0%)	219 (0.9%)	99 (0.9%)	116 (1.0%)	215 (1.0%)	△1.8%	810 (1.7%)	26.5%
営業外収益	110	21	131	54	18	72	△45.0%	135	—
営業外費用	72	18	90	11	11	22	△75.6%	45	—
経常利益 (売上高比)	141 (1.2%)	120 (1.0%)	261 (1.1%)	143 (1.3%)	122 (1.1%)	265 (1.2%)	1.5%	900 (1.9%)	29.4%
特別利益	37	12	49	7	16	23	△53.1%	25	—
特別損失	128	436	564	2	26	28	△95.0%	28	—
親会社株主に帰 属する 当期純利益 (売上高比)	△13 (-)	△301 (-)	△314 (-)	58 (0.5%)	22 (0.2%)	80 (0.4%)	—	460 (1.0%)	17.4%

為替レート
(円/元)

19.08

19.31

19.31

17.57

17.04

17.04

—

17.00

—

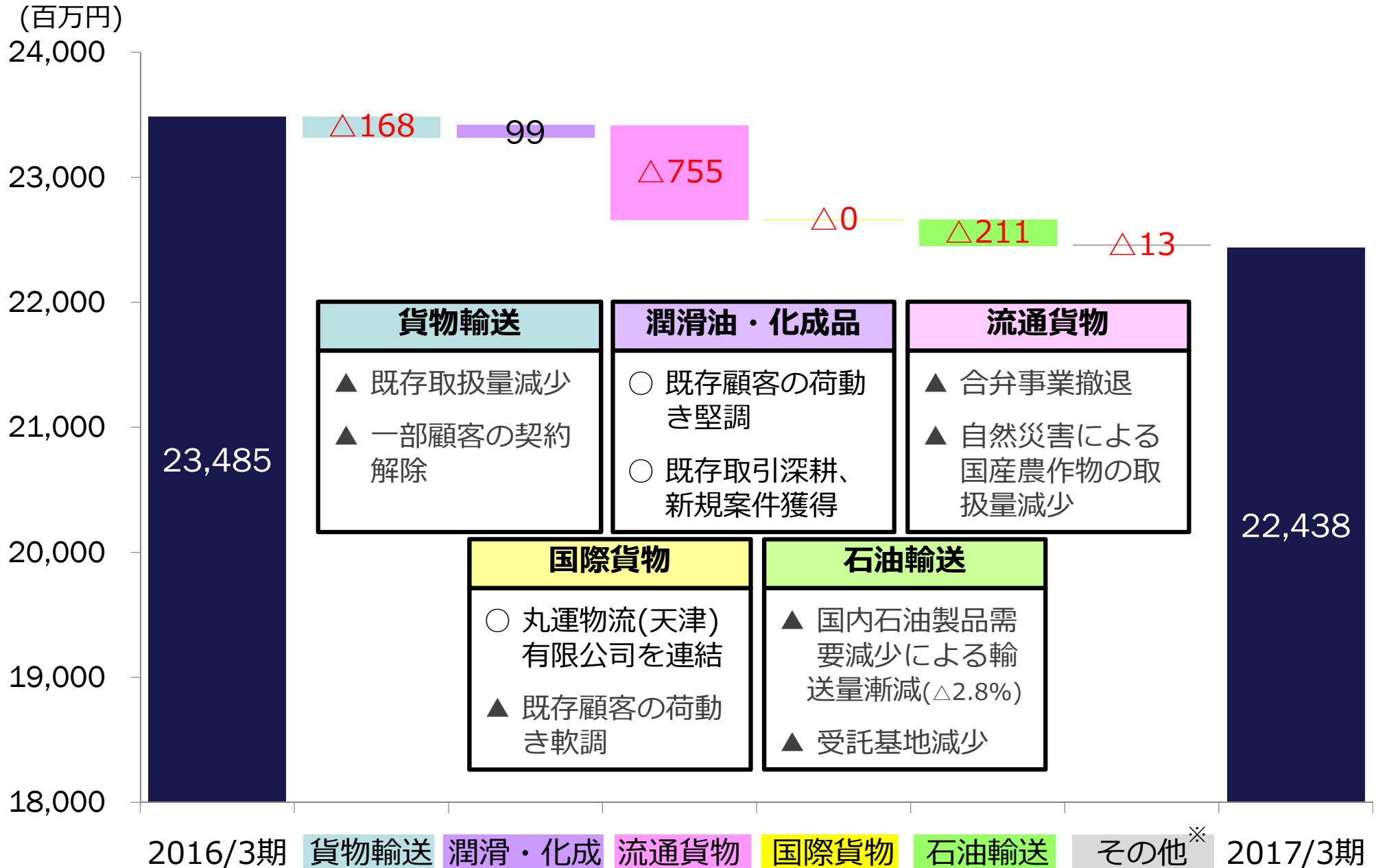
前年同期比較 (セグメント別)



(百万円)		16/3期			17/3期					
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	前期比	通期 予想	通期 達成率
貨物輸送	営業収益	5,779	5,840	11,619	5,669	5,782	11,451	△168	23,200	49.4%
	経常利益	128	149	277	157	148	305	28	677	45.1%
潤滑油・ 化成品	営業収益	1,078	1,136	2,214	1,140	1,173	2,313	99	4,750	48.7%
	経常利益	19	28	47	32	29	61	14	145	42.1%
流通貨物	営業収益	526	521	1,047	174	118	292	△755	600	48.7%
	経常利益	△34	△36	△70	△4	△14	△18	52	5	—
国際貨物	営業収益	1,357	1,317	2,674	1,341	1,333	2,674	△0	5,600	47.8%
	経常利益	31	△1	30	△17	△16	△33	△63	△41	—
石油輸送	営業収益	2,912	2,982	5,894	2,751	2,932	5,683	△211	12,410	45.8%
	経常利益	△5	5	△0	△40	6	△34	△34	224	—
その他※	営業収益	18	17	35	9	13	22	△13	40	55.0%
	経常利益	0	△23	△23	16	△30	△14	9	△110	—
連 結	売上高	11,674	11,811	23,485	11,086	11,352	22,438	△1,047	46,600	48.2%
	経常利益	141	120	261	143	122	265	4	900	29.4%

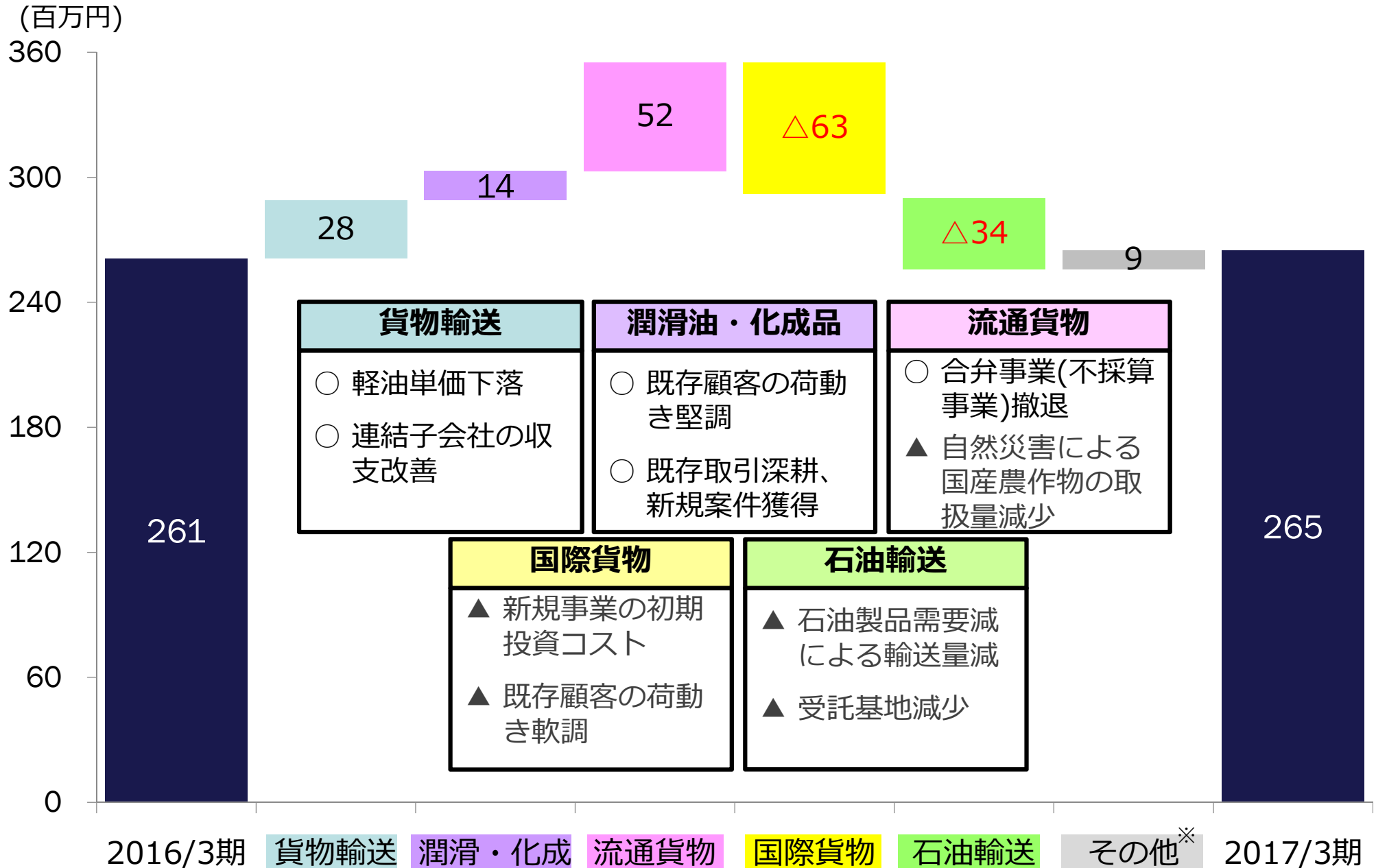
※ 「その他」の事業は、損害保険代行業・事務代行業等であります。

上期営業収益 前年同期比増減分析



※「その他」の事業は、損害保険代理業・事務代行業等であります。

上期経常利益 前年同期比増減分析



※「その他」の事業は、損害保険代理業・事務代行業等であります。

4) 2017年3月期通期業績予想



通期業績予想



(百万円)	16/3期(実績)				17/3期(予想)			前年 同期 増減	
	上期		下期	通期	上期(実績)		下期		通期
	1Q	2Q			1Q	2Q			
営業収益	23,485		24,439	47,924	22,438		24,162	46,600	△1,324 97.2%
	11,674	11,811			11,086	11,352			
営業利益 (利益率)	219 (0.9%)		751 (3.1%)	970 (2.0%)	215(1.0%)		595 (2.5%)	810 (1.7%)	△160 83.5%
	103 (0.9%)	116 (1.0%)			99 (0.9%)	116 (1.0%)			
経常利益 (利益率)	261 (1.1%)		793 (3.2%)	1,054 (2.2%)	265(1.2%)		635 (2.6%)	900 (1.9%)	△154 85.4%
	141 (1.2%)	120 (1.0%)			143 (1.3%)	122 (1.1%)			
親会社株主 に帰属する 当期純利益 (利益率)	△314 (-)		1,301 (5.3%)	987 (2.1%)	80(0.4%)		380 (1.6%)	460 (1.0%)	△527 46.6%
	△13 (-)	△301 (-)			58 (0.5%)	22 (0.2%)			
為替レート (円/元)	19.08	19.31	19.20		17.57	17.04	17.04	17.00	

通期業績予想 (セグメント別)



(百万円)	16/3期 (実績)					17/3期 (予想)					通期増減
	1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q	2Q	上期 (実績)	下期	通期	
貨物輸送	5,779	5,840	11,619	12,207	23,826	5,669	5,782	11,451	11,749	23,200	△626
	128	149	277	447	724	157	148	305	372	677	△47
潤滑油 化成品	1,078	1,136	2,214	2,347	4,561	1,140	1,173	2,313	2,437	4,750	189
	19	28	47	78	125	32	29	61	84	145	20
流通貨	526	521	1,047	552	1,599	174	118	292	308	600	△999
	△34	△36	△70	△4	△74	△4	△14	△18	23	5	79
国際貨物	1,357	1,317	2,674	2,644	5,318	1,341	1,333	2,674	2,926	5,600	282
	31	△1	30	11	41	△17	△16	△33	△8	△41	△82
石油輸送	2,912	2,982	5,894	6,657	12,551	2,751	2,932	5,683	6,727	12,410	△141
	△5	5	△0	250	250	△40	6	△34	258	224	△26
その他 ※	18	17	35	32	67	9	13	22	18	40	△27
	0	△23	△23	10	△13	16	△30	△14	△96	△110	△97
連結	11,674	11,811	23,485	24,439	47,924	11,086	11,352	22,438	24,162	46,600	△1,324
	141	120	261	793	1,054	143	122	265	635	900	△154

<上段…営業収益 / 下段…経常利益>

※ 「その他」の事業は、損害保険代理業・事務代行業等であります。

5) セグメント別状況



貨物輸送事業 / 流通貨物事業

1. 国内の貨物総量が漸減傾向の中、「廃業／協業／統合」の動きは加速
2. ドライバー等の人手不足は継続
3. 人手不足および環境対応を背景に、鉄道／フェリー利用輸送へシフト
4. 荷主業界のグローバル展開は加速、物流業界も追随
5. 5温度帯物流ビジネスチャンスの拡大

潤滑油・化成品事業 / 国際貨物事業

1. 化成品物流は漸減、潤滑油物流は堅調
2. 京浜地区危険物保管倉庫の慢性的不足（潤滑油、化成品、Lib等）
3. 海外需要家までの一貫輸送を望む荷主の増加（アルミ、潤滑油等）
4. 日系荷主の海外事業拡大／海外危険物輸送の品質強化傾向

石油輸送事業

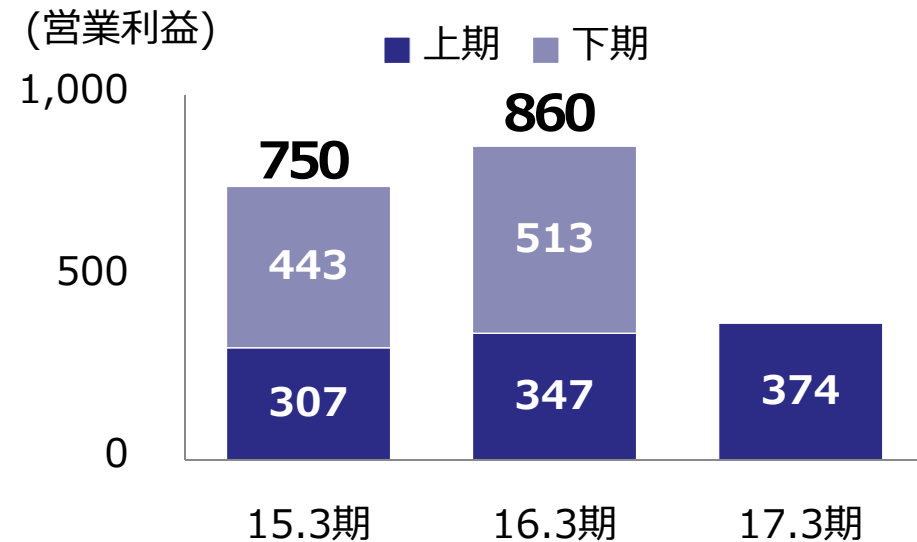
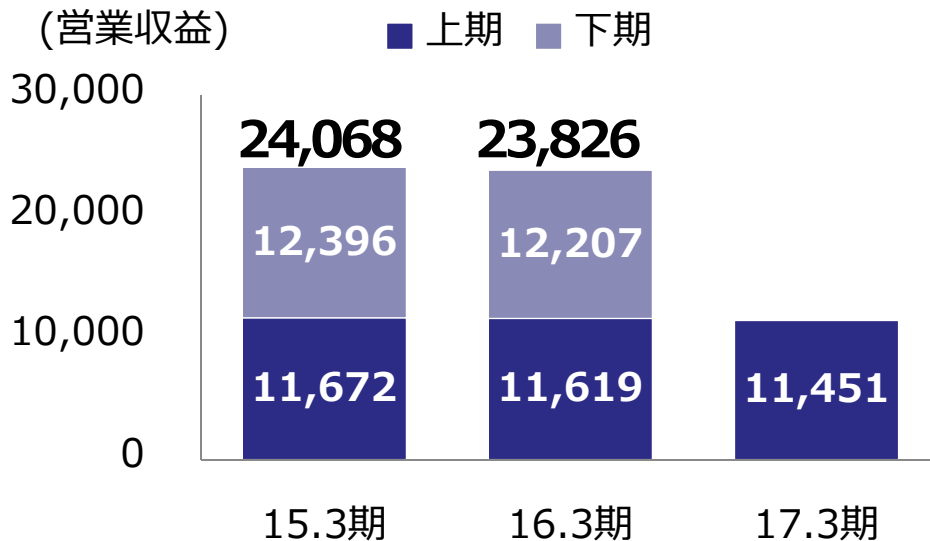
1. 国内の石油製品需要は減少基調（燃料油計：年率△1.6%）
2. 油槽所運営／構内作業受託はJX-TG統合により影響
3. 石油輸送会社間の協業／統合は加速

セグメント別状況（貨物輸送事業部）



既存顧客との取引減少により減収したが、
軽油単価下落および連結子会社の収支改善により増益。

業績推移（百万円）



上期の主な要因・下期取組み

◆ 上期の業績変動要因

- 一部顧客の契約解除等による既存取扱量の減少
- 連結子会社の収支改善
- 軽油単価下落によるコスト減

◆ 下期の取組み

- 栃木物流センター第2倉庫竣工に伴う既存顧客との取引深耕
- 通運部門の収支改善（31FTコンテナ利用促進など）



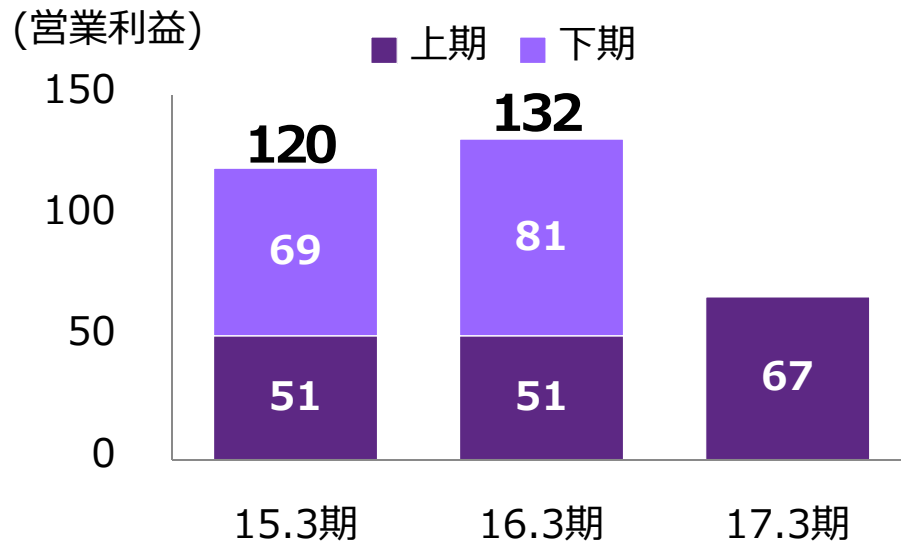
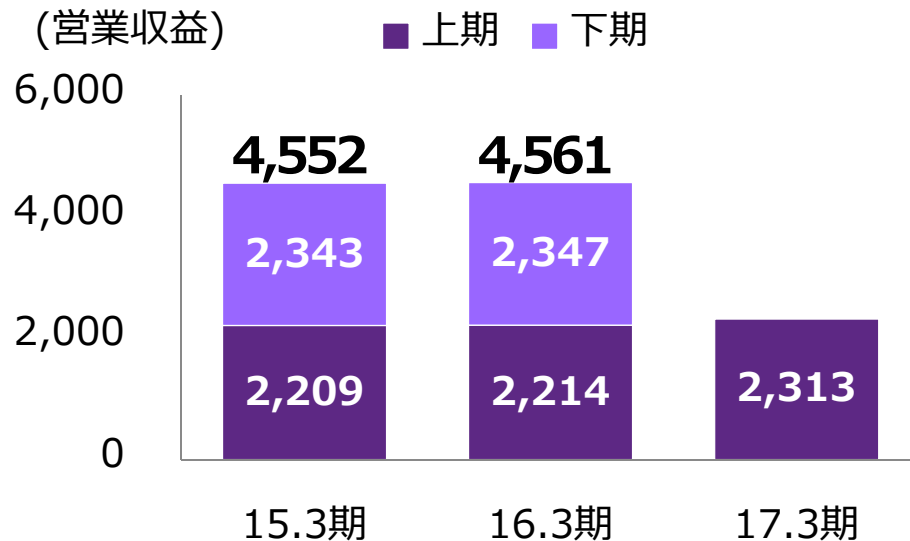
栃木物流センター第2倉庫

セグメント別状況（潤滑油・化成品事業部）



潤滑油部門は既存顧客の堅調な荷動きの結果、増収・増益。
 化成品部門は新規顧客獲得・既存顧客取引拡大により増収・増益。

業績推移（百万円）



上期の主な要因・下期取組み

◆ 上期の業績変動要因

- 潤滑油添加剤メーカーの物流業務元請化
- 石油元売詰品配送の取扱量増

◆ 下期の取組み

- 輸出入一貫物流の元請化
- 石油元売の潤滑油・化成品の詰品物流獲得
- 潤滑油・化学品工場の物流業務の一括元請化

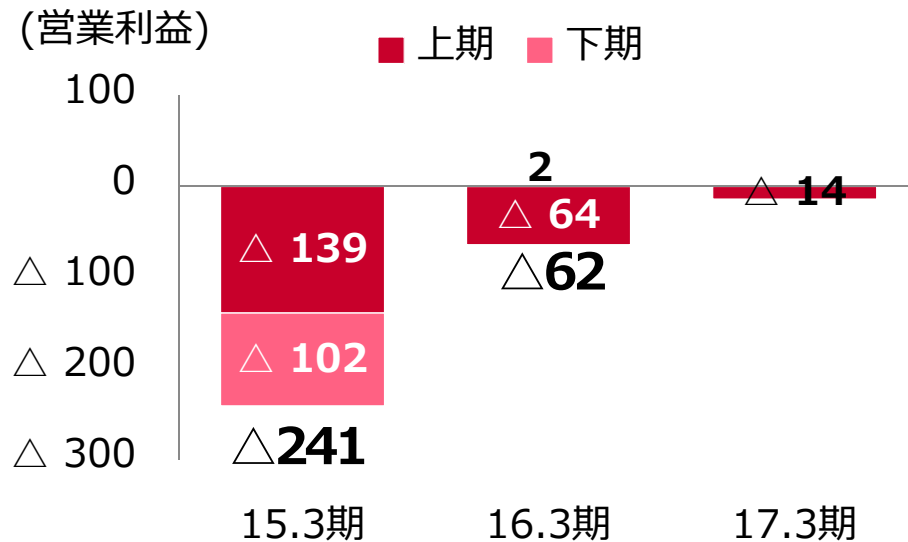
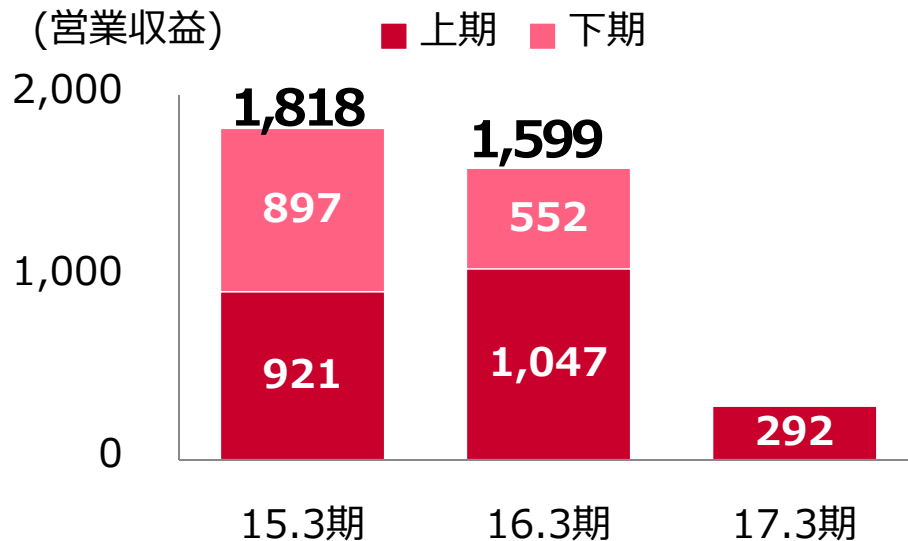


セグメント別状況（流通貨物事業部）



保冷技術の発達、高齢者世帯/一人世帯の増加によりC&F需要は堅調。
しかし、自然災害による農作物不作等が収益を圧迫。

業績推移（百万円）



上期の主な要因・下期取組み

◆ 上期の業績変動要因

- 合併事業を昨年度撤退したことに伴い営業収益減少
- 神奈川流通センターを当期より設立
- 自然災害の影響により、ブロッコリーなどの農作物不作にて取扱量減少

◆ 下期の取組み

- 共同配送事業・流通加工事業・多温度帯通販事業の早期確立
- 当期より導入したSSフィルム包装用自動設備業務の拡大（写真）

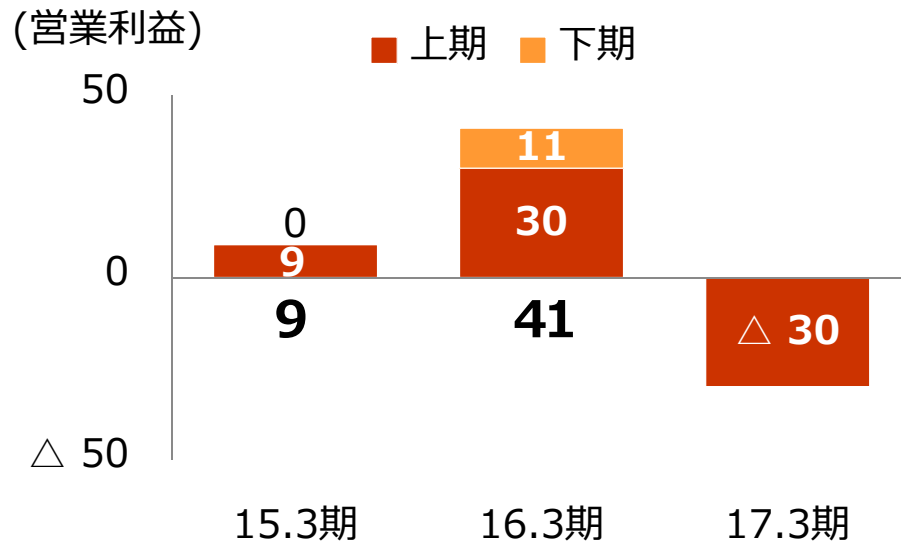
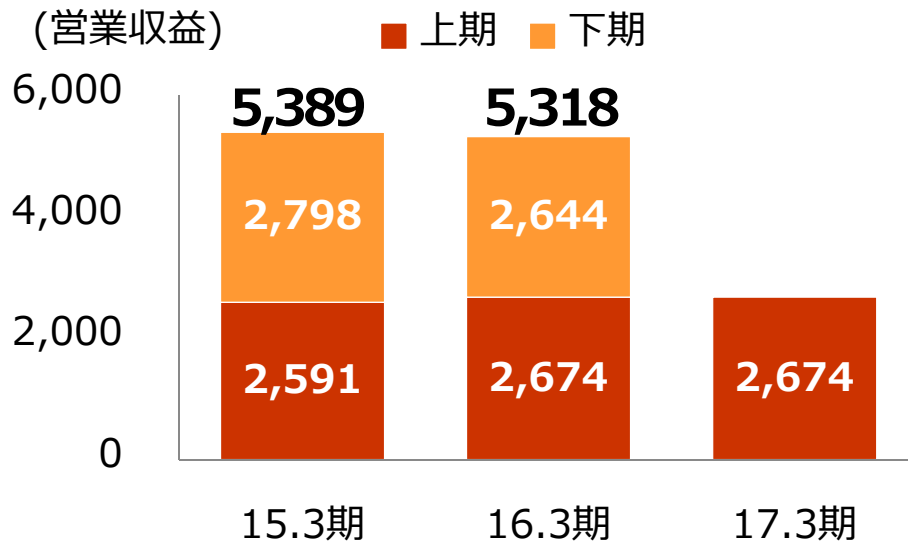


セグメント別状況（国際貨物事業部）



丸運物流(天津)有限公司連結により中国での営業収益は増加。しかし、中国事業基盤構築の初期投資等のコスト負担から減益。

業績推移（百万円）



上期の主な要因・下期取組み

◆ 上期の業績変動要因

- 天津向け輸出業務が堅調
- 中国事業基盤構築のための初期投資等コスト負担増
- 航空貨物の輸出入取扱量が減少

◆ 下期の取組み

- 中国広東への本格進出
- 丸運物流(天津)有限公司の倉庫増床
- 営業体制強化による取引拡大

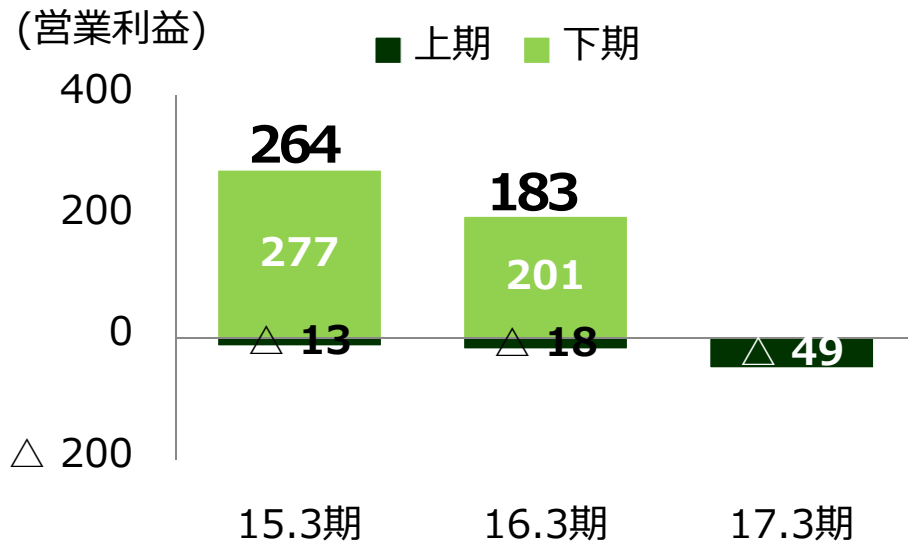
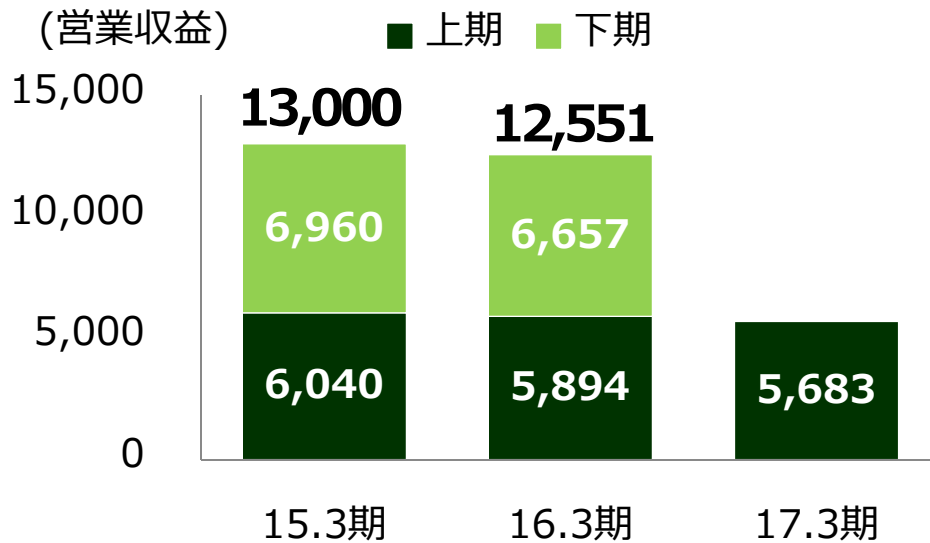


セグメント別状況（石油輸送事業部）



石油製品の国内需要は継続的に減少基調。
さらに、受託基地の減少により減益。

業績推移（百万円）



上期の主な要因・取組み

◆ 上期の業績変動要因

- 国内石油製品需要減少の影響により輸送数量漸減（前年同期比△2.8%）
- 受託基地の減少により基地管理収益減収

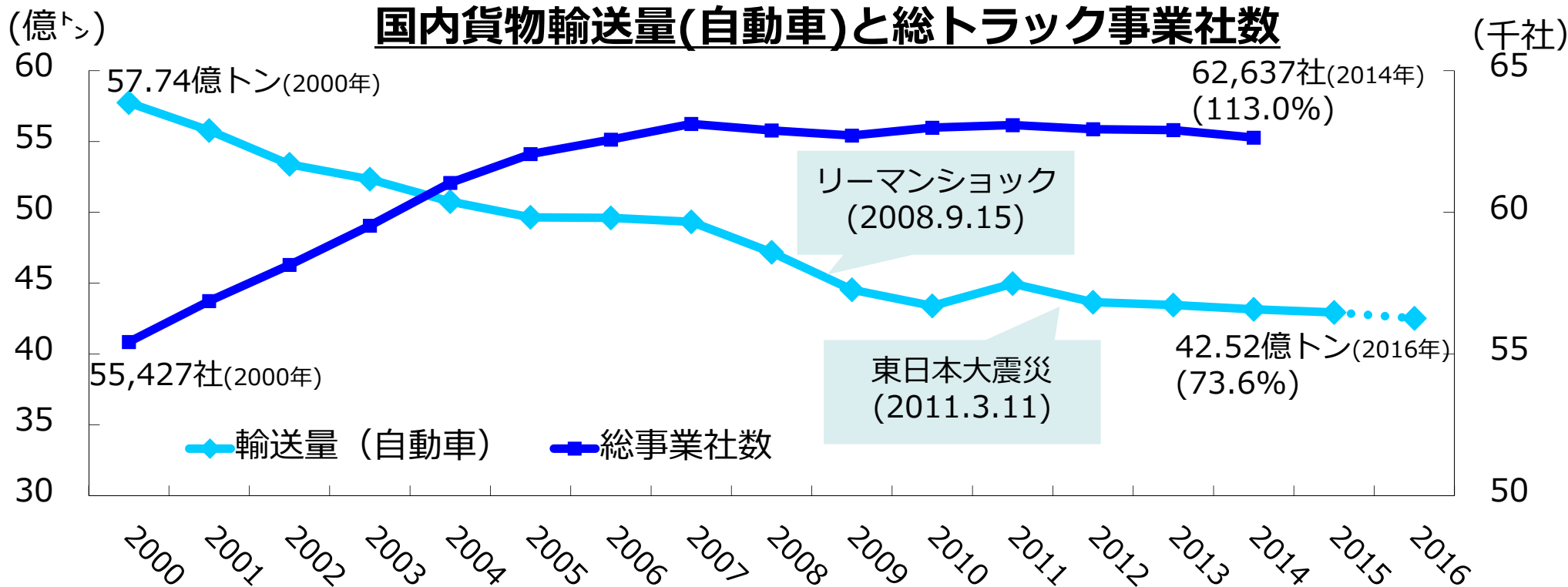
◆ 下期の取組み

- 安全レベルの向上
- 営業力強化による新規顧客との取引拡大

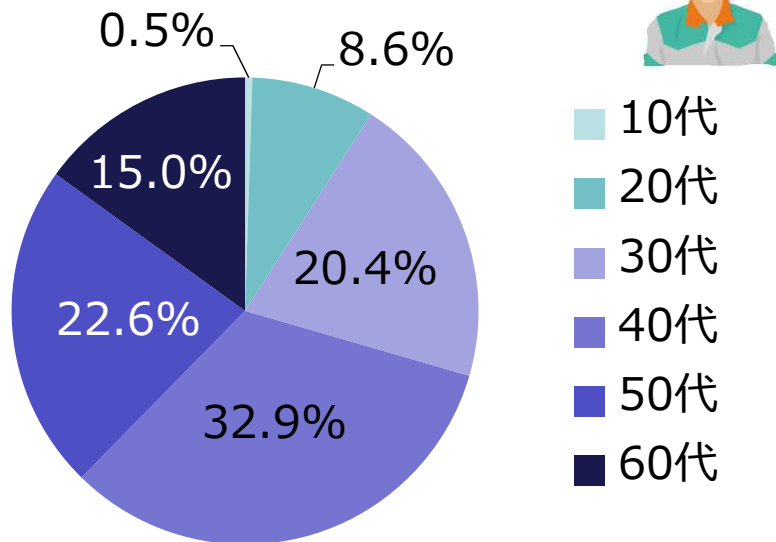


6) 参考資料

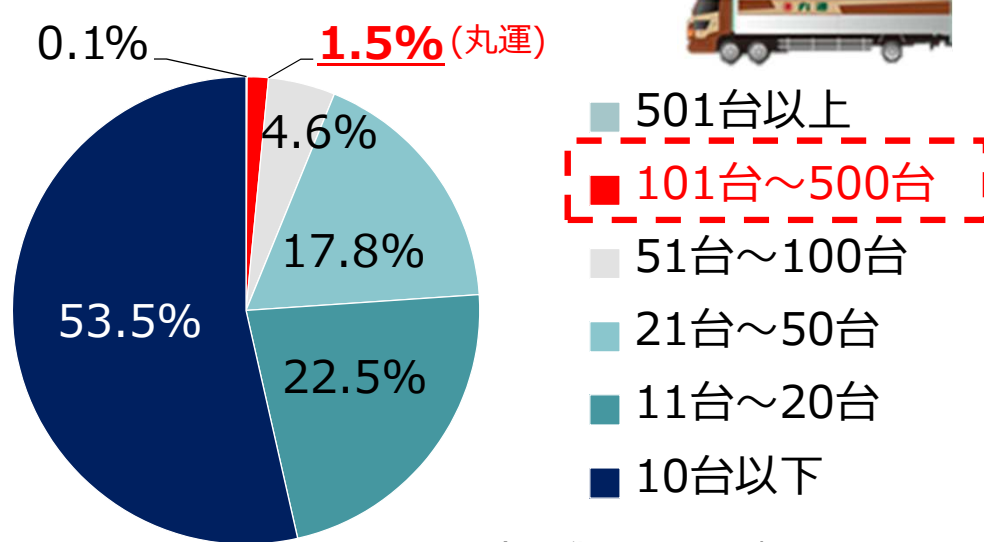
業界動向 (一般貨物)



年齢別就業者構成比(2015年度)



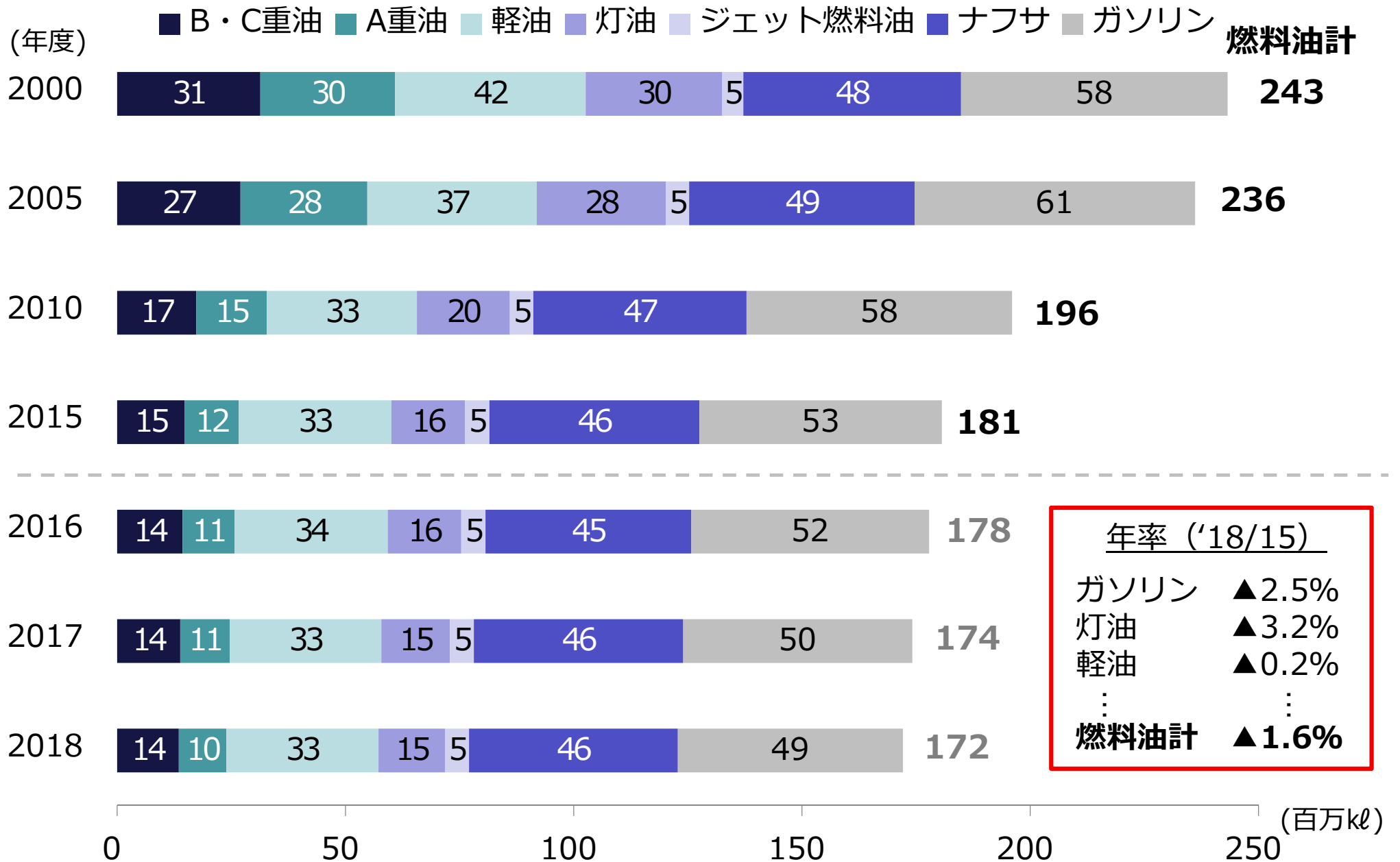
規模別事業者割合(2015年度)



業界動向（石油製品）



国内需要推移



BS・CF推移



BS(百万円)	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期 2QT
流動資産	14,474	13,545	10,915	10,824	9,986	11,320	9,337	10,478	9,720	8,975	8,357
有形固定資産	26,448	25,957	26,204	24,889	27,401	26,723	28,078	26,047	25,353	24,723	24,983
無形固定資産	201	216	269	224	195	168	204	269	259	309	297
投資その他資産	5,196	3,989	3,176	3,303	3,419	2,813	2,835	2,620	2,788	2,893	2,314
固定資産計	31,845	30,161	29,649	28,416	31,016	29,705	31,118	28,938	28,401	27,926	27,594
総資産	46,319	43,707	40,564	39,241	41,002	41,071	40,482	39,426	38,121	36,901	35,951
流動負債	19,089	16,672	15,105	12,776	12,088	12,514	11,880	11,528	11,754	9,428	9,232
固定負債	10,344	10,291	8,571	8,575	10,426	9,407	9,759	8,827	7,020	7,312	6,765
負債合計	29,424	26,962	23,676	21,351	22,515	21,921	21,639	20,355	18,775	16,470	15,997
純資産合計	16,895	16,745	16,888	17,889	18,487	19,149	18,843	19,070	19,346	20,160	19,954
自己資本	16,738	16,573	16,704	17,676	18,265	18,940	18,646	19,057	19,337	20,103	19,897

CF(百万円)	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期 2QT
営業CF	2,097	3,170	2,827	2,190	1,875	2,119	902	694	2,115	2,160	476
投資CF	△ 1,114	△ 964	△ 1,468	9	△ 3,947	△ 680	△ 2,508	1,439	△ 1,030	△ 1,271	△ 851
財務CF	△ 1,291	△ 2,390	△ 1,686	△ 2,792	1,209	△ 315	157	△ 1,850	△ 1,637	△ 934	△ 224
現金・現金同等物 の期末残高	4,392	4,206	3,878	3,286	2,426	3,556	2,108	2,428	1,879	1,885	1,631

PL推移



PL(百万円)	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期 2QT
営業収益	56,185	56,940	52,990	48,661	49,386	49,283	48,397	48,864	48,904	47,924	22,438
営業総利益	4,166	4,647	3,828	3,549	3,465	3,133	2,238	2,641	3,319	3,775	1,670
販管費	2,316	2,311	2,412	2,241	2,205	2,228	2,329	2,400	2,704	2,805	1,455
営業利益	1,850	2,335	1,415	1,353	1,259	905	△ 91	240	615	970	215
営業外収益	202	157	180	205	159	174	155	246	194	207	72
営業外費用	218	228	193	184	144	123	125	104	80	122	22
経常利益	1,834	2,265	1,402	1,374	1,275	956	△ 60	382	729	1,054	265
特別利益	78	79	68	87	118	534	81	1,363	64	906	23
特別損失	104	208	121	66	205	205	95	470	346	781	28
税引前利益	1,807	2,136	1,349	1,395	1,183	1,286	△ 75	1,275	447	1,179	261
当期純利益 (親会社に帰属)	956	1,062	740	949	649	586	△ 102	630	88	987	80

(参考)

売上高経常利益率	3.3%	4.0%	2.6%	2.8%	2.6%	1.9%	-0.1%	0.8%	1.5%	2.2%	1.1%
ROA(総資産経常利益率)	4.0%	5.2%	3.5%	3.5%	3.1%	2.3%	-0.1%	1.0%	1.9%	2.9%	0.7%
ROE(自己資本経常利益率)	11.0%	13.7%	8.4%	7.8%	7.0%	5.0%	-0.3%	2.0%	3.8%	5.2%	1.3%
1株あたり純資産	579.17円	573.48円	578.08円	611.73円	632.12円	655.52円	645.35円	659.63円	669.35円	695.88円	688.76円
1株あたり配当金	7.00円	7.00円	7.00円	7.00円	7.00円	7.00円	6.00円	7.00円	7.00円	8.00円	4.00円
1株あたり当期純利益	33.09円	36.75円	25.61円	32.85円	22.46円	20.31円	△3.55円	21.83円	3.08円	34.19円	2.78円
自己資本比率	36.1%	37.9%	41.2%	45.0%	44.5%	46.1%	46.1%	48.3%	50.7%	54.5%	55.3%



➤ 株価の推移

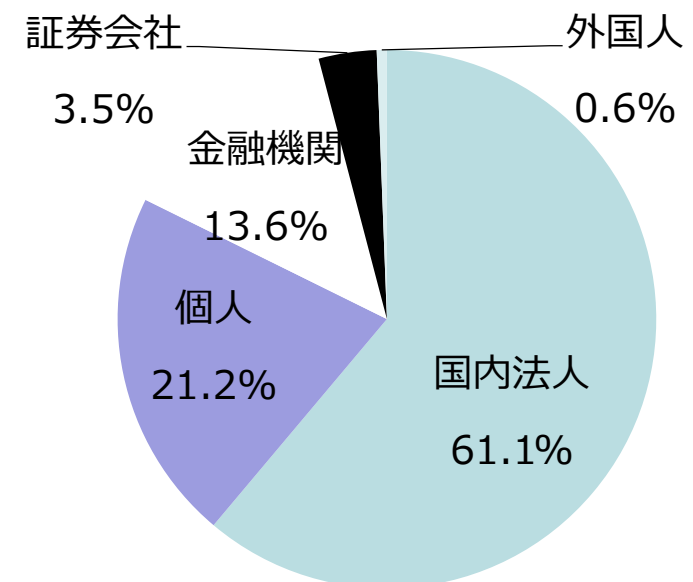
- 10年来安値：171円(2011年3月15日)
- 10年来高値：447円(2007年5月15日)
- 年初来安値：222円(2016年6月27日)
- 年初来高値：265円(2016年2月4日)

➤ 発行済株式数：28,965,449株

(2016年9月30日現在)

➤ 株主数：3,881名(2016年9月30日現在)

➤ 所有者別株式分布状況





丸運グループ 経営理念

わたしたちの

信条

- お客様のニーズから発想します
- 現場から発想します
- 個人と社会を尊重します

わたしたちの

使命

- 「お客様の物流ソリューションを最高の品質と創造力で革新し社会の発展に貢献します」

わたしたちの

約束

- 公平・公正で透明な取引を実行します
- ステークホルダーとの対話を尊重し共に成長します
- 安全品質を妥協することなく追求します
- 問題を直視して個人の知恵と組織の力で解決します
- 環境負荷の軽減に努め自然との共生をめざします



将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況または物流業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク

などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ先 経営企画・IR部

TEL:03-6861-3419 FAX:03-6861-3435

Maruwn Corporation 



※本決算説明会の動画配信につきましては、下記URLよりご確認ください。

<http://www1.daiwair.jp/qlviewer/e-cast/1611109067/index.html>